

韓国で高病原性鳥インフルエンザ疑い事例続発!

6月3日、韓国済州市の家きん飼養農場において、高病原性鳥インフルエンザ（H5N8亜型）を疑う事例が確認され、疫学的に関連のある6農場でもH5亜型鳥インフルエンザウイルスが検出されました。

韓国での発生は、本年4月4日以来、約2か月ぶりとなります。

◆◆◆家きん飼養者の皆様へ◆◆◆

○引き続き飼養衛生管理基準の遵守により、本病の侵入防止・発生予防に努めていただきますようお願いします。

○毎日の飼養家きんの健康観察と、異常発見時の早期通報をお願いします。

韓国における高病原性鳥インフルエンザの発生状況（2017年6月以降）

